

《 コラム 》 Vol.53.1

ゴルフの珍事（その2）コラム番外編

ゴルフも長年やっていると、まあいろいろなことを経験します。
今回はコラム Vol.53 の続き、しかも番外編です！

いつものゴルフ仲間とプレーしたときのこと。
その日は大学生のアルバイトのキャディさんが付きました。
話を聞くと、どうも初めてのアルバイトらしい。
コース内の右も左も分かりません。
まあキャディバッグ（ゴルフバッグ）を運んでもらえるだけでも助かります。

ゴルフも終盤に差し掛かった頃だったと思います。
そのホール（コース）は左側に川があり、右側は安全なホールでした。
当然ながら皆さん右サイドにボールを打ちます。
ボールを追って皆で右サイドを歩いていきます。
しかし何を思ったのか、私のキャディさんが川沿いを歩いております。
多分ロストボールを探していたのかもしれない。
しばらくすると、「きゃ〜っ！」と悲鳴が！

何が起こったのか？ みんな声の方向を見ると・・・。
なんとキャディさん、胸のあたりまで川にズッポリ浸かっております。
「大変だ！」と思い、皆で助けに行きます。
私はすかさずキャディさん、ではなく、
水に落ちそうなキャディバッグを助けました。（道具は大事！）
肝心のキャディさんは、友人たちが助けてくれました。
川にボールはよく落ちますが、キャディさんが落ちたのは珍事でした。

次は練習場での珍事。
アユタヤにいた頃、週末はよく友人と近くの練習場に出かけました。
その友人、日本のゴルフ雑誌をよく読んでいて内容を教えてくれます。
そのなかに練習方法の情報がありませんでした。
話を聞くと、ボールの後ろ 10cm の所にコインを置いて、
コインを打たないようにボールを打つ練習でした。

早速その友人、練習場で試してみます。
ボールの後ろ 10cm の所に 10 バーツコインを置きました。

10 パーツは 500 円玉くらいの大きさで、当時は約 30 円の価値です。
精神を集中させて、ボールを打とうとする友人。
後から見ていて、普段より力が入っているのが分かります。
いざ、こん身の力でボールをヒット！ と思った瞬間、
「あゝ ~っ！！！」と叫ぶ友人。

眼に見えたのはフリスビーのように綺麗に飛んでいく 10 パーツコイン！
その飛距離なんと 50m！
肝心のボールは・・・2~3m 先にコロコロと。
たった一打で 10 パーツを失ってしまった友人。
時すでに遅し。
「あの 10 パーツ、取りに行けないよねえ。」と、泣く泣く諦める友人。
彼には気の毒でしたが、腹の底から笑える珍事でした。

最後に日本の練習場での私の実体験。
良く行く練習場は練習ボールの自販機があり、
ボタンを押すとボールが 50 球出てきます。
自販機の下に籠（かご）を置くと、ボールが 50 球籠に入ります。

あるとき、何か考え事をしていたのか、籠を持たずに自販機の前へ。
そしてそのままボタンを押してしまいました。
ボールが出てきて事の重大さに気が付きます。
時すでに遅し。
出るは、出るは、どんどことゴルフボールが。

ボールが転がって行かないように必死にボールを止めに掛かります。
手や足、あらゆる身体の部位を使って四方八方に転がるボールを押さええます。
いやあ~めちゃくちゃ焦りましたよ、その時は。
50 球のボールが 300 球くらいに感じました。
勇気がある方は一度お試しを。(何のメリットもありませんが・・・)

話が長くなりますので、今回はこの辺で。